

2021 年度第 8 回執行理事会議事録

日程：2022 年 1 月 8 日（土）13:00-18:00【WEB 会議】

出席：磯崎・佐々木・平田・中澤・岡田・緒方・亀高・坂口・小宮・辻森・星・大藤・狩野・松田・矢部・高嶋，岩部（監事）

欠席：ウォリス

事務局 澤木

*定足数（過半数：9）に対し，16 の出席

*前回議事録（21-7 回）確認

報告事項

1. 全体的報告

- ・ 「日本列島地質総覧」（加藤碩一ほか編集・執筆，朝倉書店発行）の編集協力のため，校正ゲラを理事会 ML へ回覧中．1/14 期日で理事に引用等確認を依頼している．

2. 運営財政部会（緒方・亀高）

1) 総務委員会

<共催・後援依頼，他団体の募集，連絡等>

- ・ 科学教育研究協議会第 68 回全国研究大会・岡山大会」（2022/8/10-12）への後援依頼があり，承諾した．
- ・ 令和 3 年度千葉県職員採用選考考査（地質職）の実施案内があった（1/6 締切）【→geo-Flash 掲載】

<会員>

1. 今月の入会者（1 名）

正会員（1 名）：赤羽千男

2. 今月の退会者（2 名）

正会員（2 名）：佐藤弘幸，稲垣伸二

3. 今月の逝去者（2 名）

正会員（2 名）：小島秀康（逝去日：2021 年 8 月 12 日），大江 巖（逝去日問合せ中）

4. 2021 年 12 月末会員数

賛助：27，名誉：39，正会員：3294 [正：3169，院割：117，学部割：8] 合計 3360（昨年比-82）

<会計>

- ・ 故糸魚川淳二名誉会員のご遺族より寄付（30 万円）のお申し出をいただき，謹んでご遺志をお受けすることとした．

<その他>

特になし

3. 広報部会（坂口・小宮）

1) 広報委員会（坂口）

- ・ フォトコンテスト締切が 1 月末に迫っている．今年も多数の応募を期待している．
- ・ ジオルジュの取材は 5 月分までは終了．コロナ再拡大で取材も難しくなっているが，11 月分も

早めに実施予定。

4. 学術研究部会（辻森・ウォリス・星）

1) 行事委員会（星）

- ・ 早稲田大会のトピックセッションを募集（3月10日締切）。募集記事をニュース誌1月号に掲載予定。招待講演者の発表負担金徴収しないことを確認した。
- ・ JpGU2022で開催する「地質学露頭紹介」についてJpGU大会運営委員長と協議中。地質学会からの主な提案は次の通り：イベントタイトル（仮）「地質学露頭紹介 at JpGU2022」；日本地質学会とJpGUの共催；5/29（日）午後オンライン開催希望；地質学会Zoomアカウントを使用；参加・発表できるのはJpGU2022大会参加者および地質学会会員；参加は事前申し込み不要；発表希望者は事前申し込みが必要（受付事務は地質学会事務局が担当）；当日YouTubeライブでも流す（JpGU非参加者や地質学会非会員もYouTubeで視聴可）；大会終了後、紹介内容（写真・解説）をニュース誌に掲載し（記名記事）、地質学会ウェブサイトにも掲載（JpGUウェブサイトにもリンクを貼ってもらう）。

<開催趣旨> とっておきの露頭や解釈困難な露頭、専門家から意見をもらいたい露頭など、さまざまな露頭写真を持ち寄り、その学術的意味についてZoomで解説したり意見交換したりする。参加者から質問やコメントを出してもらい、参加者全員で楽しむ。写真の芸術性よりも学術的な重要性や疑問、おもしろさなどを意識。露頭（の写真）を見れば、地球惑星科学にかかわる人なら何か言いたくなる・聞きたくなることを期待。地質系の学生や研究者はもちろん、地質をあまり知らない方からの紹介や質問を大歓迎。

2) 専門部会連絡委員会（辻森）

特になし

3) 国際交流委員会（磯崎 [ウォリス]）

- ・ IGC（2024韓国）巡検関連については、関係各位と継続的に議論している

4) 地質標準化委員会（辻森）

特になし

5. 編集出版部会（大藤・狩野）

1) 地質学雑誌編集委員会（大藤）

(1) 編集状況報告（2022年1月6日現在）

- ・ 2021年投稿論文：45 [内訳] 論説25（和文22，英文2），総説2（和文2），レター7（和文7），報告3（和文3），ノート3（和文3），口絵5（和文3，英文2）
査読中：23，受理済み：0
- ・ 127巻12月号：論説3，報告1，ノート1（48ページ，）
- ・ 128巻：論説1（入稿中），レター1（校正中）

(2) その他

- ・ 投稿編集出版規則について、誤字の修正、プレプリントサーバに関わる記載など修正を予定している。
- ・ 128巻以降の出版論文については、書誌情報をニュース誌に掲載して会員に周知する。掲載のタイミング等については、ニュース誌編集委員会と相談して進める。

2) アイランドアーク編集委員会（狩野）

(1) 編集状況報告

- ・ 投稿状況はあまり良くないが、IF 値が 2.1 を超える見込み。積極的に宣伝してさらに投稿を促したい。

3) 企画出版委員会（小宮）

特になし

6. 社会貢献部会（松田・矢部・高嶋）

1) 地学教育委員会（高嶋）

- ・ 今年も大学入試共通テストの終了後、速やかに地学関連科目に関する評価を行う予定

2) 地質技術者教育委員会（佐々木）【報告資料 01】

- ・ キャリアビジョン誌を 12 月に発行し、各大学等へ発送した。技術者教育への貢献として、技術者を多く輩出した JABEE 校を学会から表彰もしくはランキングの公表などしたらどうかとの意見が上がった。
- ・ JABEE 運営体制変更についての学会回答（2021 年 12 月 11 日理事会承認）を 12 月 15 日に資源・素材学会に送付（メールと郵送）した。
- ・ 第 2 回 JABEE オンラインシンポジウム「昔と違う イマドキのフィールド教育」（3 月 6 日開催予定）の準備状況
- ・ JABEE 地球・資源分野運営委員会（2021 年 12 月 23 日 WEB 開催）の概要が報告された。JABEE 認定をやめるところが増えて JABEE の財政は厳しくなっている。

3) 生涯教育委員会（矢部）

- ・ 日本地質学会 News2022 年 1 月号より「博物館で地学を学ぼう！」と題した連載を開始する。2022 年は関東支部内の博物館等が担当。第 1 回を神奈川県立生命の星・地球博物館の田口氏（当委員会委員）に担当いただいた。
- ・ 学会 HP で公開している News 誌 PDF 版について、写真や図のカラー差替えを希望。今後広報委員会での検討を依頼した。

4) 地震火山地質子どもサマースクール（松田）

- ・ 2022JPGU セッション開催に向けての進捗状況について：5 月 22 日（日）AM1 の口答セッション：教育・アウトリーチ「地震火山地質子どもサマースクールのこれまでとこれから」/代表コンビナー 柴田伊廣（文化庁）、協同コンビナー 松原 誠（防災科研）・横山 光（北翔大学）・松田達生（工学気象研究所）/6 人の口頭発表 2 人ポスター発表が必要。講演者については、サマスク創設から関与している中川氏（地震学会）が候補者をリストアップする。全体についての話題、スタッフ参加者からの話題提供、過去のスタッフへのアンケートまとめなど、サマスクの教育的、社会的役割を考察する内容にする。

5) 地質の日（矢部）

- ・ 来年度の街中ジオ散歩の実施について幹事打ち合わせを 12/19（日）に行い、国分寺駅周辺での実施を検討することとした。1/15 に下見を行う予定（→下見は中止となった）。
- ・ 5 月の地質の日講演会については今月中に生涯教育委員会を中心に検討を進める。

7. その他執行理事会の下に設置される委員会

1) 利益相反マネージメント委員会（中澤）

特になし

8. 理事会の下に設置される委員会

1) ジオパーク支援委員会（委員長天野：代理平田）

特になし

2) 地学オリンピック支援委員会（高嶋）

- ・ 12/19 一次予選（オンライン開催）1582 名受験，221 名通過．2 次予選は 1/23 に全国各会場で実施．

3) 支部長連絡会議（平田）

- ・ 支部発行の著作物（支部例会講演要旨ほか）の著作権の取り扱いについて，各支部に状況を確認した．状況や事業が様々であるが，今後の手続き方法や対応について，事務局と相談の上整理する．

4) 地質災害委員会（松田）

特になし

5) 名誉会員推薦委員会（佐々木）

- ・ 2 月 10 日締切で理事，専門部会へ推薦を依頼中．

6) 各賞選考委員会（中澤）

- ・ 選考作業中．

7) ジェンダー・ダイバーシティ委員会（委員長 堀 利栄）

- ・ 12/13 男女共同参画学協会連絡会定時総会 第 20 期第 1 回運営委員会にて磯崎会長が挨拶を行った．

8) 連携事業委員会（中澤）

特になし

9. 研究委員会

1) 地質環境長期安定性研究委員会（委員長 吉田英一）

特になし

2) 南極地質研究委員会（委員長 小山内康人）

特になし

審議事項

1. 学会運営タスクフォース（学会活性化に関わる会費などの変更について）
 - ・ 会員種別の変更（学生会員，一般会員，シニア会員をもって正会員とする．ジュニア会員の新設），会費変更などについて，顧問弁護士にも確認を行った．新しい制度内容については，4 月理事会に最終案を諮り，来年度の総会での承認を目指す．また並行して定款，規則類の変更提案も進める．
 - ・ 新方式の適用年度は，事務局の作業量を勘案した後，早急に決める．
 - ・ ジュニア会員の枠組みについては，将来的には小学生まで拡大することも検討するが，現状では中学生・高校生を対象とする．また学会主催のジュニアセッションなどは，ジュニア会員のみ参加可とする．また入会に際しては担当理事など正会員 1 名の推薦を求める．
2. 表正制度の見直し（その 2）と関連規則の改正について（運営規則，各賞選考規則，各賞選考委員会規則）
 - ・ 一部賞の名称変更や推薦対象期間の見直し，「日本地質学会フォールドワーク賞」の新設などが提案され，了承された．関連規則の改正案と合わせて次回理事会へ諮る．

3. 学術大会セッション変更案（たたき台）

- ・ セッションの魅力を高め、学術大会を活性化をはかるため、従来の「レギュラーセッション」を「ジェネラルセッション」に一本化し、申し込まれた発表内容をもとに行事委員会が10程度のサブセッションを構成するなどの変更案が提案された。本件について早急に理事会へメールで説明を行い、2022年早稲田大会のセッション募集を開始したい。

監事総評

- ・ 今回提案されているジュニア会員制度は中高生への地質学への興味への入り口、きっかけとなる大変重要な制度である。中高生向けへ地質学普及のために積極的に活用してほしい。

以上

2022年2月5日

一般社団法人日本地質学会

執行理事会

会長（代表理事）磯崎行雄

署名人 執行理事 中澤 努

今後の予定

- ・ 2021年度第9回執行理事会 2022年2月5日（土）（WEB）
- ・ 2021年度第10回執行理事会 2022年3月19日（WEB）
- ・ 2021年度第5回（定例）理事会 2022年4月9日（WEB）